

ディプロマ・ポリシー（卒業認定に関する方針）

専門職として人の役に立つ人物を育てる

1. 国家試験に合格できる程度の知識を身につけている
2. 指導や助言を受けながらであれば臨床業務を行える
3. 必要な知識や技術を自ら学び続ける態度が身につけている

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

学院の理念および教育方針（ディプロマ・ポリシー）を実現するために、以下のカリキュラムポリシーに沿って教育課程を編成し、実施する。また、これに沿って各学年終了時の人材育成像を設定する。

1. 倫理観、責任感および豊かな人間性を養うための教育課程を編成する
 - ・各教育課程（講義・実習・その他）を通じて接遇や倫理観について教育する
 - ・各教育課程の中で課題を課し、それに対して計画的に取り組み、期日までに準備・提出できるように教育する
 - ・各種のグループ課題の遂行においてチームの一員として参加できるように教育する
2. 教養と専門知識・技術を身につけるため、基礎・専門基礎・専門科目を適切に編成する
 - ・各教育課程を通じて、卒業後に受ける新人教育を理解し、臨床場面に反映できる程度の知識・技術を身につけるように教育する
3. 実践力を身につけるため医療福祉施設での実習科目を編成する
 - ・対象者、職員への接遇や社会人として適切な行動ができるように教育する
 - ・情報収集・統合と解釈・目標設定・プログラム立案と実施・効果判定までの流れを体験させ、対象者の個別の状況を把握して対応できるように教育する
4. 必要な知識、技術を自ら学び続ける態度を養うための教育課程を編成する
 - ・学習会やグループ研究を通じて学習習慣を身につけるよう援助する
 - ・主に実習科目を中心にして、対象者を援助するために必要な知識や技術が自らに不足する場合に、自主的に学習できるように教育する

アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れ方針）

1. 医療や福祉の分野で活躍するために、その知識と技術を修得する意欲のある人
2. 病気や障がいのある人の気持ちを理解するとともに、その苦悩に共感できる人
3. 社会人としての良識や倫理観を身につけ、社会に貢献したいと願っている人
4. 他者の言葉に耳を傾け、適切に説明できるというコミュニケーション能力を持つために努力する人
5. 他の医療福祉人と連携して働くために、チームワークの能力を備えている人